

2024.9.2

総合計画審議会第3回総会

資料第1号

第5回 施策間連携の推進に向けた 審議会等代表者による懇談会の報告について

尼崎市 都市政策課

「施策間連携サミット」

【開催日時】

令和6年8月8日（木）午前9時30分～11時30分

令和2年度より例年実施
今年で5回目

【参加者】

分野別マスタープラン等を所掌する審議会等代表、市長以下、局長級以上の職員

【開催目的】

施策間の連携強化に向けて、
市の内部だけでなく、市と審議会、審議会間の
総合的かつ横断的な情報共有・意見交換を行う

【開催内容】

市長講演、各審議会からの報告、意見交換



③「施策間連携サミット」 【審議会等代表者からの報告（一部抜粋）】

○総合計画審議会 久会長

今回の総計は分野別マスタープランを集約する形とし、総計で別の柱を作らないようにした。この場で毎年、連携を確認したい。複合施設では、所属を越えた運営は大変だが足並みが揃うと面白い取組も生まれる。

○人権文化いきづくまちづくり審議会 武本副会長

若者の人権意識が希薄化している。人権意識を身に付けるには子どもの時に教育を行っていくこと。
外国籍住民とその家族へは、社会参加を促す行政の仕組み作りや教育、企業による労働者支援も必要。
今年度は多文化共生社会推進指針を策定予定。

○教育振興審議会 堀田会長

学校教育は他の施策との関係が強く、就学前教育や健康支援と関連しているDX分野でも、児童ホームの連絡アプリやデジタル採点が進んでいる。
新図書館も地域コミュニティと連携して進めていく。

○子ども・子育て審議会 猪田委員

昨今は「ウェルビーイング」というキーワードで、子どもの幸せを検討している。保護者も含め、乳幼児期の子どもが重要で、学校教育との連携が重要になる。
まちぐるみで子どもをサポートする事例もあり、参考に
して子ども・子育て支援を進めていきたい。

○社会保障審議会 松原委員長

尼崎は市民活動が活発で、非常に価値があること。こうした人材への投資として、市民活動のサポートなどが望まれる。都市間競争の中で、独自の財源が確保できるよう、ビジョンを描いてほしい。

○地域保健問題審議会 藤原会長

第4次地域いきいき健康プランを策定。検診受診率、運動不足、食習慣や口腔の健康、心の健康など課題は多い。
学校教育などと連携して議論することが必要。
たばこ対策も重要で、市の路上喫煙禁止に期待。

③「施策間連携サミット」 【審議会等代表者からの報告（一部抜粋）】

○産業労働審議会 加藤会長

オープンイノベーションコア尼崎ができた。ITイノベーション醸成の成果に期待したい。

働く人への投資が重要。人を育てる、野心的な若者を見つける議論をお願いしたい。

教育・福祉・まちづくりとの連携は重要。尼崎の取組から国の施策を動かす提案ができれば。

○環境審議会 赤澤副会長

ゴミ処理施設更新の計画ができたが、空いた空間の暫定活用が重要。新しい価値創造のきっかけにしては。

まちの価値向上には身近な街区公園が重要。

武庫川を生かした環境の取組、教育を通じた子どもたちからの自然への愛着形成が大切。

○都市計画審議会 三谷会長

都市計画マスタープランでは、観光・雇用・就労の交差など、各分野の連携を意識して議論した。

これまで分かれていた審議会を、都市計画審議会内の専門部会にして統合したが、他の計画との連携を意識した計画を策定することができた。

○住宅政策分科会 吉田副会長

尼崎では空き家所得補助等の空き家対策が充実しているが、若いプレイヤーと連携するにはスピード感が必要。尼崎はイメージが課題。定量的な評価を発信する、宣伝になるような学校を作るなどが必要。

スポットワークのニーズがあり、検討してはどうか。

「施策間連携サミット」 【意見交換（一部抜粋）】

【市長の課題意識】

- 外国籍人口の増、世帯所得の増などの時代の変化と、利便性と地価のバランス、住宅ストックの更新などの尼崎の利便性を生かして、尼崎の次のステージに向けて取り組んでいく。
- 4つの重点項目と、これからのまちづくりに向けた投資的事業を進めていく。
- 外国籍住民への対応、道路を活用した経済活動、流通業界の問題、農業公園の整備など、施策を越えて連携して取り組んでいきたい。

【主な意見等】

- 図書館の整備では、本を減らすことで空間をつくり、子どもがふらっと行きやすい空間づくりなどが可能となる。
- 地域への投資については、小さな団体に少額ずつ助成するのではなく、団体が連携して一括交付金として1,000万円渡すことができれば、地域のいろんなことができる。
- 産業技術短大は地域の強みであり、オープンイノベーションコアとの連携、あるいは労働者育成を組み合わせさせてやっていけないのではないか。

【サミットのまとめ（市長）】

- 分野別の連携で、特に課題意識を持っているのが福祉分野である。体系的に国に決められている部分も多いが、高齢者の活躍やフレイル対策、子育てとの連携など考えられることはある。
- これからもそれぞれの分野で、高齢者施策であれば、介護保険制度を越えて連携し、なにができるか、といったことを考えたい。今後も知見をいただければ大変ありがたい。

参考資料① 施策間連携ガイドブック

